

# 授業を、 学びを、 変える。

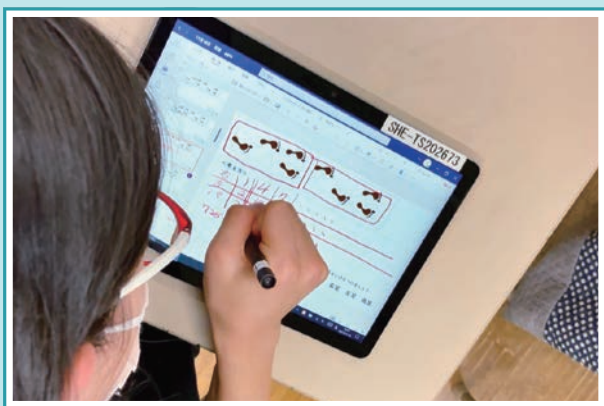
すべての児童・生徒にとって、  
主体的に思考を深められるICTの活用

担当講師  
創価大学教職大学院 教授 渡辺 秀貴

担当校長  
九段小学校 校長 清水 明

千代田区立教育研究所  
主任教育研究専門員 木暮 温  
教育研究専門員 額賀 聡  
教育研究専門員 長田 真理子

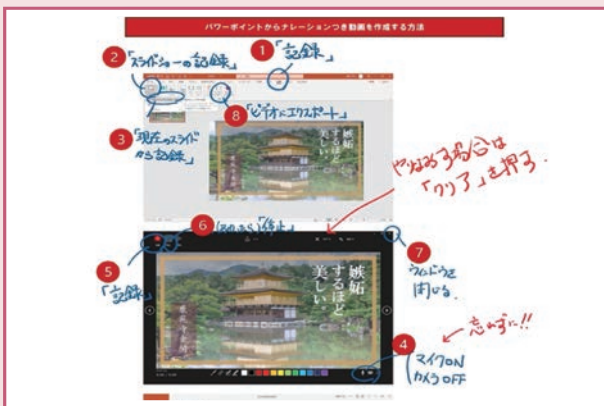
千代田区教育委員会事務局  
子ども部指導課長 山本 真  
指導主事 塚田 恭平  
指導主事 相場 奨太



全ての児童生徒が活躍できる、  
ICT 機器を効果的に活用した授業づくり

## Member

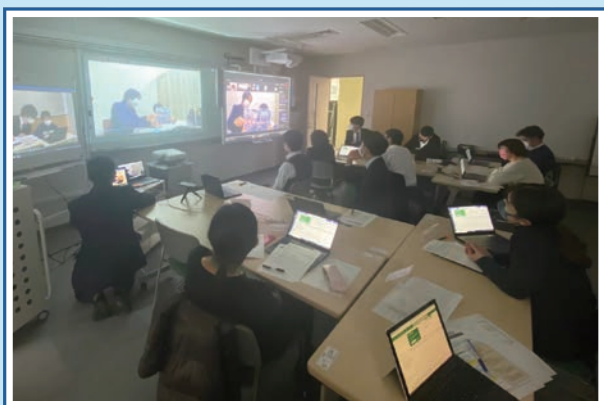
- 鈴木 陽介 (麹町小学校)
- 岩瀬 悠太 (九段小学校)
- 戸村 萩奈 (お茶の水小学校)
- 福原 聡子 (千代田小学校) <A分科会世話人>
- 山本 和弘 (昌平小学校)
- 手塚 景太 (麹町中学校) <全体世話人>



児童・生徒が主体的に活動し、  
思考を深め表現することのできる授業展開の工夫  
～ ICTとアナログの効果的な利活用～

## Member

- 中野 薫 (番町小学校)
- 座間味 恵里 (富士見小学校) <B分科会世話人>
- 及川 祐輝 (和泉小学校)
- 山口 瑠美子 (神田一橋中学校)
- 鹿野 智人 (九段中等教育学校)



タブレットでつながりあい、  
学びあう子どもたち

## Member

- 青木 千尋 (九段・富士見小学校) <C分科会世話人>
- 藤原 敬 (千代田・お茶の水小学校)
- 坂倉 孝枝 (和泉・昌平小学校)
- 大嶋 浩司 (麹町中学校)



## 分科会テーマ

# 『全ての児童生徒が活躍できる、ICT 機器を効果的に活用した授業づくり』

子どもの知的好奇心をくすぐり、面白い、何とかしたい！と思える課題設定

小学校 5 年生 算数  
 単元名 「整数の性質を調べよう」  
 授業者 山本 和弘

少し複雑な「けんけんぱ」です。  
 725 歩目は  
 右足、左足、両足の  
 どれになるでしょうか。

### 手だて

#### 個々の課題解決の場面

- 画面共有で友達からヒントを得る。

#### 集団検討の場面

- 共通のポイントを押さえた上で考えを共有する。
- 発展させた考えを ICT で分かりやすく表示する。



### 成果

#### 個々の課題解決の場面

- 友達の考えを資料として活用できた。
- 考えを書くことができた。

#### 集団検討の場面

- 自信をもって説明することができた。
- 視覚的に理解が深まった。
- 多様な考えに触れ、自分の考えを深めることができた。

### 課題

- 情報モラルの徹底とソフトウェアの検証
- デジタルで作成したものへの評価
- 学年や目的に応じた ICT の活用の検討
- ノートや黒板板書と ICT の両立

#### 問題

725 歩目はどちらの足でしょうか。



#### 解答 1



<考え方>  
 1セット 2セット  
 $725 \div 3 = 241 \dots 2$   
 $241 \times 2 = 482$  (偶数) (左)  
 答えに○をつけましょう  
 右足 (左足) 両足



#### 3で割る解答

多くの子が最初にこれを書いたが、のちに考えを表記していた。

#### 解答 2



<考え方>  
 1セットは6歩←踏み出す足が右と左で違う  
 725歩は1セットが...  
 $725 \div 6 = 120 \dots 5$   
 120セットと5歩  
 答えに○をつけましょう  
 (右足) 左足 両足



#### 6で割る解答

最終的にはこの考えが一番多かった。

#### 解答 3



<考え方>  

右	1	5	9	13	17	21	25
左	2	4	8	10	12	16	20
両	3	6	11	14	18	22	24

 答えに○をつけましょう  
 右足 左足 両足



#### 表にする解答

タブレットの画面を共有することで、考えの広がりが増えた。

**B**  
分科会



研究関連資料

## 分科会テーマ

# 『児童・生徒が主体的に活動し、 思考を深め表現することのできる授業展開の工夫』 ～ ICTとアナログの効果的な利活用～

タブレットを利用してグループで  
CMを作成し、相互視聴することで  
プレゼンテーションの力をつける

中学2年生 社会  
単元名「室町時代の社会と文化」  
授業者 鹿野 智人

### 分科会テーマ設定理由

- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指したい。
- ICTとアナログの効果的な利活用で、持続可能な授業づくりを目指すことができる。

**ICT...** タブレット、  
パワーポイント、  
ワード、エクセル、  
インターネット、Teams

**アナログ...**  
紙の教科書、  
プリント、ノート、  
黒板、対面での対話、  
実物教材など

### 学習場面ごとの具体的な手だて

学習場面	ICT	アナログ
導入	・電子黒板で資料提示	・実物を提示
個別学習	・インターネットによる調べ学習 ・アプリで自分の考えをまとめる ・動画や写真の撮影・視聴	・既習内容を教科書やノートで確認する ・自分の考えや調べたことをノートにまとめる
協働学習	・アプリで考えを共有する ・意見をすばやく集約できる	・新たな気づきをノートに記録する ・感想や意見等を話し合う

### 成果

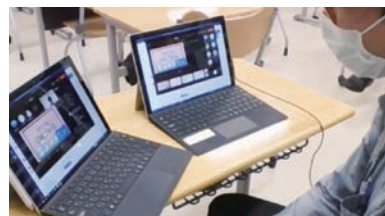
- ICTとアナログの使い分けによる意欲の向上・表現のしやすさ
- ICTとアナログのよさの実態把握

### 課題

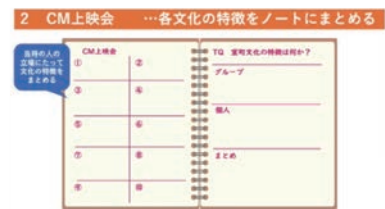
- 児童生徒のICTのスキルの個人差
- オンラインでの話し合いの難しさ

### 学習の流れ

時間	学習内容・学習活動【】方法・留意点 ☆評価基準	主体的・対話的で深い学びになる指導の工夫
前時までの活動	○個人学習 空町時代の基本事項について理解する ○パフォーマンス課題 空町文化を象徴する「商品」について パワーポイントで特徴をまとめ、30秒程度の動画（CM）を作成する （能/狂言/茶/水墨画/書院造/御加筆子）	■アナログとICTの目的に応じて使い分け【アナログ】 目的 知識や思考を体系的に整理する 場面 板書等で基本事項を整理する ・学んだことを文章でまとめる
導入10分	○前時までの内容を確認する ○「室町文化の特徴は何だろう」 【ICT】teams会議で要点を確認する 【アナログ】教科書・ノートを参照する	【ICT（一人一台タブレット等）】 目的 ①パフォーマンス課題に取り組みの意見を可視化し共有する 場面 ①タブレットを利用して動画を作成し、相互視聴する ②個人で作成したまとめの文章をFormsで共有する
展開①10分	○作成したCMを視聴する ○それぞれの文化の特徴をまとめる 【ICT】teams会議で動画を視聴する 【アナログ】ノートに、それぞれの動画で紹介された文化の特徴をまとめる	■授業形態の工夫 ・半円で学ぶ内容の一部を、生徒が事前に学習し、授業では教員が内容をフォローする（反転学習） ・知識の活用や思考力・判断力・表現力を一体的にはかる（パフォーマンス評価）
展開②10分	○まとめた内容をふまえ、空町文化の全体の特徴をグループで整理する 【ICT】teamsブレイクアウトルームで意見を共有する	■オンライン授業の想定 ・対面/オンラインを問わず、同じ目標の学習活動を実施できるように工夫する
まとめ10分	○共有した意見をふまえ、空町文化の全体の特徴を個人で文章でまとめる 【アナログ】ノートに文章でまとめる 【ICT】文章をFormsに提出する ☆下記グループ評価を参照	■持続可能性 ・長期的に生徒の意欲を見とるために、様々な教科・単元で導入できる方法を協議する ・授業者の負担感を軽減する



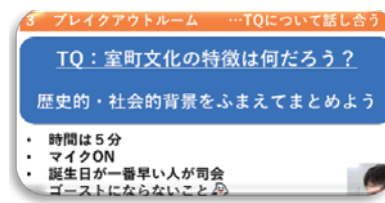
Teamsを活用し、  
オンラインで授業  
を展開



ノートへの  
まとめ方の提示



パワーポイントを用いて  
動画を作成。Teamsにて  
動画を視聴



ブレイクアウトルームでの意見の  
交流





## 分科会テーマ

# 『タブレットでつながりあい、 学びあう子どもたち』

発表ツールを自ら選択しオンライン学校紹介をすることで、安心してコミュニケーションがとれる！

特別支援教室・特別支援学級 自主活動  
 単元名「オンライン学校紹介をしよう！」  
 授業者 青木 千尋、藤原 敬  
 坂倉 孝枝、大嶋 浩司

ゲームが楽しいな  
緊張していたけれど  
仲良くやれそう

この人たちと  
発表し合うのか...



### 1 顔合わせ

Teams で自己紹介をし、ミニゲームを行う。

### 単元設定理由

自分から発信することに苦手さがある児童・生徒がオンラインでつながることにより意欲的にコミュニケーションを取れるのではないか。

### 手だて

- 事前に顔合わせをすることでイメージと相手意識をもつ。
- 発表方法をいくつか提示し得意な方法を選択させる。
- 相談タイムを設けることで言葉のやり取りに自信をもつ。

### 成果と課題

- タブレットで他の学校の子とつながることにより、意欲をもって発表に取り組むことができた。
- 発表方法を固定しなかったことにより、自分の得意なやり方で自信をもって行うことができた。
- 各校とのスケジュール調整、継続的なオンラインによる連携授業の実施が課題である。

写真を  
紙芝居みたいにして  
話そうかな

パワーポイントで  
つくるよ



### 2 準備

自分の得意な方法で資料を作成

これなら...  
うまくできそうだ  
自信がもてたぞ



### 3 練習

本番のように練習をする。  
どんな質問があるか予想し、答え方も練習する。

なんて質問したら  
いいかな？  
これでは失礼かな...



### 4 本番

順番に発表する。  
相手の発表を聞いて質問や感想を言う。受け答えのしかたを一緒にいる先生に相談できる。

得意な方法で  
いつもより自信をもってできたよ

たくさん「いいね」  
をしてもらって  
うれしかったな



### 5 振り返り

発表や言葉のやり取りなどに対して、前向きに評価ができるよう促す。

